

＜第2回命を守る訓練＞

5月12日（金）6限終了後に「第2回命を守る訓練」を実施しました。今回は、地震による火災発生を想定し、①地震待機訓練、②通報訓練、③避難訓練の3つの流れを確実にかつ敏速に行なうことと、防災意識の高揚を目的としました。

グラウンドへの避難、点呼確認、本部への連絡が昨年と比べると全体的に遅くなっていました。より一層、災害への備えに対する危機感や緊張感を高め、訓練のための訓練にならないようにしたいと思います。

現在も日本のあちこちで小・中規模の地震が発生していますが、これから約30年の間に必ず起こるといわれている南海トラフ大地震に備えていかななくてはなりません。

今回の訓練では、いつ発生するかわからない大きな災害が起きた時に、自分の身を守れるように避難場所を確認し行動することを学びました。「災害は忘れた頃にやってくる」という言葉があるように、「いつでも安全」ではないということを自覚することが大切です。「自分の命を自分で守る」為にも、今回の訓練を活かしてほしいと思います。

